

2014年度 公益財団法人熊本YMCA事業計画書

第1 事業の状況

〔公益目的事業〕

青少年をはじめとする全ての世代の人々の心身の発達や人格の健全な向上を図るとともに、一人の市民として地域社会の発展や世界の平和に寄与できる全人的な成長を促す生涯学習活動。

<基本方針>

熊本YMCAの公益目的事業は、「ウエルネス事業」、「子育て支援事業」、「国際理解・国際教育事業」という3つ事業領域を中心に構成されており、次の5つを学ぶことを目的とする。

I 自分のいのちとみんなのいのちを大切にすること

一人ひとり自分がかげがえのない存在であることに気付き、お互いのいのちを大切にし、生きる力を身につける。

II 家族、地域のひとりとして責任があること

人と人とのつながり、地域と人とのつながりを通して、一人ひとりが共に仕え合う責任があることを学ぶ。

III 世界と地球を見つめ、考え、行動すること

お互いの違いを認め合って、一つの地球に生きるすべての人のいのちと平和、そして私たちが生かされている自然を守るために行動することを学ぶ。

IV ボランティア精神とリーダーシップを身につけること

お互いに助け合い、支え合う心を育み、人々が生き生きと暮らす地域を守り育てる働きかけが、進んでできる生き方を学ぶ。

V すこやかな心とからだを育むこと

いろいろな人との交わりと活動を体験することにより、すこやかな心とからだを育み、いつも喜びと希望を持ち、充実した人生を送ることを目指す。

A. ウエルネス事業（野外教育活動及び健康教育活動）

1. 野外教育活動

(1) 自然体験活動

【活動方針】

- ①自然生活を楽しみ、自然に適応する能力を身につける
- ②良い習慣を育て実践する
- ③健康のための知識を得て、自分の身体を守る方法を知る
- ④生活を豊かにする技術を学び、創造力を育む
- ⑤良き友人を作る方法を学び、互いの存在と生命を尊重する心を育む
- ⑥民主的なグループ経験から、社会に関わる責任感を育む
- ⑦神の恵みを知り、感謝の気持ちを養う

【活動計画及び目標人数】

①通年野外クラス

1)インディアンズクラブ（宿泊を伴う野外活動）

	中央	みなみ	ながみね	むさし	計
月平均	5名	12名	10名	10名	37名

2)サタデーインディアンズクラブ（日帰り野外活動）

	中央	みなみ	ながみね	むさし	計
月平均	5名	20名	10名	5名	40名

②季節野外活動

プログラム名	中央	みなみ	ながみね	むさし	計
土日キャンプ	20名	20名	20名	20名	80名
夏期キャンプ	115名	140名	125名	110名	490名
冬期キャンプ	45名	80名	50名	75名	250名
春期キャンプ	30名	0名	15名	25名	70名
合計	210名	240名	210名	230名	890名

③障がい児支援キャンプ

プログラム名	担当部署	実施予定日	目標人数
ポニーキャンプ (熊本盲学校との共催)	ICR	7月24日～25日	生徒：15名 ボランティア等：40名
コスモスキャンプ (日本自閉症協会熊本県支部との共催)	阿蘇	8月15日～17日	児童：25名 ボランティア等：50名

④指導者派遣

キャンプ指導	幼稚園、保育園、子ども会等からの依頼により実施
クラフト指導	幼稚園、保育園、子ども会等からの依頼により実施
ゲーム指導	幼稚園、保育園、子ども会等からの依頼により実施
野外調理指導	幼稚園、保育園、子ども会等からの依頼により実施

(2) リーダーシップ養成活動

【活動方針】

- ①ボランティアとして活動する機会を通して、共に支え合う社会づくりを目指す。
- ②グループワークの手法を活用しながら、各々相互に成長の機会を創造していく。

【活動計画及び目標人数】

プログラム名	担当部署	実施予定日	目標人数
キャンプリーダートレーニング	野外教育	5/25 11/11, 12	5月開催各70名 11月開催各15名
熊本YMCAリーダー研修会	野外教育	11/2	30名

(3) 自然環境の保全活動

【活動方針】

- ① 阿蘇市との防災協定に基づき、的の石キャンプ場を用い自然環境保全活動を年間通して実施する。
- ② 未来を担う青少年の森づくりを推進するために、行政、民間団体との協働事業を実施する。
- ③ ウェルネス事業部(野外)でのシーズンキャンプで環境教育キャンプを実施する。

【活動計画及び目標人数】

プログラム名	担当部署	実施予定日	目標人数
植林事業(森林探検隊) (会場：YMCA的の石キャンプ場)	野外教育	4月27日	30名
環境教育プログラム (会場：YMCA的の石キャンプ場ほか)	阿蘇	4月27日、5月25日、 7月27日	各回30名 延べ90名
熊本県青年森林協力隊推進事業	野外教育	10月に予定	20名
YMCAエコキャンプ	阿蘇	8月	35名
九州キャンプミーティング	野外教育	2015年2月22日	30名

## 2. 健康教育活動

### (1) スポーツ活動

#### ア. 子どもスポーツ活動

##### 【活動方針】

- ①フィットネスを向上させます。
- ②新しい技術を習得します。
- ③創意工夫の涵養と気力を充実させます。
- ④安全思想の理解と安全技能を修得します。
- ⑤人と人との交わりを大切にします。
- ⑥「思いやり」、「誠実さ」、「尊敬心」、「責任感」をすべての場面で大切にします。

##### 【活動計画及び目標人数】

##### ①通年クラス

##### 1)体育英語幼稚園

	中央	みなみ	ながみね	むさし	計
月平均	24名	—	22名	22名	68名

##### 2)体操

	中央	みなみ	ながみね	むさし	計
月平均	139名	242名	199名	242名	821名

##### 3)新体操

	中央	みなみ	ながみね	むさし	計
月平均	14名	28名	61名	53名	158名

##### 4)サッカー

	中央	みなみ	ながみね	むさし	計
月平均	76名	117名	92名	87名	371名

##### 5)水泳

	中央	みなみ	ながみね	むさし	計
月平均	—	1022名	1063名	910名	2995名

##### 6)ヒップホップ (チアダンス含む)

	中央	みなみ	ながみね	むさし	計
月平均	12名	28名	52名	133名	225名

##### 7)その他のプログラム (ベビー体操、チャレンジキッズ、ワンコイン等)

	中央	みなみ	ながみね	むさし	計
月平均	6名	10名	8名	9名	32名

##### ②講習会

	中央	みなみ	ながみね	むさし	計
春期	75名	105名	165名	135名	480名
夏期	110名	360名	350名	320名	1140名
冬期	75名	115名	190名	145名	525名
合計	260名	580名	705名	600名	2145名

イ. 発達障がい支援活動

【活動方針】

- ①ライフステージに応じた、発達障がいのあるメンバーへの支援活動
- ②青年期の発達障がい者支援（A型事業所、若者サポステへの協力）
- ③発達障がいに関する基礎理解を広める研修会の実施
- ④発達障がいに関する支援のネットワークを広げるための教育、医療機関との連携活動

【活動計画及び目標人数】

①通年クラス

	中央	みなみ	ながみね	むさし	計
月平均	23名	21名	32名	—	76名

②講習会

	中央	みなみ	ながみね	むさし	計
夏期のみ	13名	3名	3名	—	19名

ウ. 成人スポーツ活動

【活動方針】

- ①運動の楽しさ、習慣を身につける。
- ②日常生活に必要な体力・筋力の維持、増進を図る。
- ③生活習慣病を予防する。
- ④医療機関と連携し、メディカルチェックを積極的に展開する。

【活動計画及び目標人数】

①通年クラス

プログラム名	中央	みなみ	ながみね	むさし	計
アクア	—	○	○	○	/
ジム	—	○	—	○	
フィットネス	—	○	○	○	
月平均	—	798名	178名	723名	1698名

②水泳講習会

	中央	みなみ	ながみね	むさし	計
月平均	—	25名	5名	10名	40名

エ. 高齢者スポーツ活動

【活動方針】

- ①高齢者の心身機能、および生活機能の低下を予防する。
- ②要介護状態にならない、悪化させない介護予防プログラムを実施する。
- ③下肢筋力を中心に機能維持、改善するプログラムを実施する。
- ④医療機関と連携し、メディカルチェックを積極的に展開する。

【活動計画及び目標人数】

①メディカルチェック費用無料者（60歳以上の参加者：人数はウ①通年クラスに含む。）

	中央	みなみ	ながみね	むさし	計
年間 延人数	—	60名	—	50名	110名

(2) 地域支援活動

【活動方針】

- ①熊本市内・熊本市近郊の小学生、保育・幼稚園児、YMCA水泳クラス生への「ウォーターセーフティハンドブック」の無償配布
- ②諸団体への水上安全講習会アピール
- ③大人、保護者対象の水上安全講習&救急法の実施
- ④YMCA水泳教室生への「水上安全講習・着衣泳体験」実施

【活動計画及び目標人数】

①水の安全キャンペーン

プログラム名	中央	みなみ	上通	ながみね	むさし	阿蘇	計
水の安全ハンドブック 配布部数	1200部	2500部	30部	2100部	2950部	850部	9630部
配布先：小学校	18校	36校	1校	23校	42校	11校	131校
幼稚園	—	1園	—	—	—	—	1園
保育園	—	1園	—	—	—	4園	5園
着衣水泳指導先	小学校、幼稚園、保育園等からの依頼により実施						

②指導者派遣（熊本市内及び周辺地域）

プログラム名	中央	みなみ	ながみね	むさし	阿蘇
体操指導	小学校、幼稚園、保育園、行政等からの依頼により実施				
レクリエーション指導	小学校、幼稚園、保育園、行政等からの依頼により実施				
水泳指導	小学校、幼稚園、保育園、行政等からの依頼により実施				
運動指導	近隣医療機関、自治会等からの依頼により実施				

B. 子育て支援事業

1. 幼児保育活動（ぶどうの木幼稚園）

【活動方針】

- ①健康で安全な生活習慣を身につけます。
- ②遊びを通して積極的、自発的行動を促します。
- ③物事への正しい理解と興味関心を促します。
- ④体育、言語、音楽、造形活動を通して創造力を育みます。

【活動計画及び目標人数】

①ぶどうの木乳児園（みなみYMCA）

みなみYMCA	2歳児	3歳児	4歳児	5歳	計
目標人数	13名	16名	13名	8名	50名

2. アフタースクール（学童保育）

【活動方針】

- ①学校後の子どもたちの安全で教育的な居場所作りを行う。
- ②地域のもうひとつの学校、もうひとつの家庭として子どもたちの健やかな成長の場を提供する。
- ③学校の学童保育後の預かりも行い、共働き家庭の支援を行う。
- ④「思いやり」、「誠実さ」、「尊敬心」、「責任感」をすべての場面で大切にする。

【活動計画及び目標人数】

①通年クラス

1)アフタースクール

	中央	みなみ	ながみね	むさし	計
月平均	—	18名	—	25名	43名

2)児童絵画

	中央	みなみ	ながみね	むさし	計
月平均	—	6名	10名	—	16名

②講習会

	中央	みなみ	ながみね	むさし	計
春期	—	20名	3名	10名	33名
夏期	—	74名	9名	43名	126名
冬期	—	10名	3名	10名	23名
合計	—	104名	15名	63名	182名

C. 国際理解・国際教育活動（国際交流活動及び語学教育活動）

1. 国際交流活動

【活動方針】

- ①国際プログラムに参加する機会を幅広い世代に広く提供することで、アジアの課題や多文化共生について考え、学ぶ機会を参加者は得ることができる。
- ②青少年、ユース・リーダー、学生YMC Aのメンバーに国際的な活動に参加する機会を多く提供し、体験を広く伝えていただく機会を設け、保護者、YMC A会員が、グローバルな視点を持つようになる。
- ③1 YMC A 1 アジア運動、タイ里親運動、国際協力青少年育成年末募金など熊本YMC A独自で行っている国際協力活動を広く伝えることで、熊本の地で様々な方々がアジアを身近なものとして捉えることができる。

【活動計画及び目標人数】

①海外派遣

プログラム名	担当部署	実施予定日	参加予定数
タイワークキャンプ	ICR	8月19日～28日	10名
タイスタディツアー	ICR	8月19日～24日	5名
ミャンマー・モガウンYMC A訪問	みなみ	3月までに実施予定	3名
インドネシア・メダンYMC A訪問	上通	8月26日～31日	2名
東ティモールユースワークキャンプ	ながみね	9月（計画中）	3名
カンボジアスタディツアー	むさし	3月（計画中）	3名

②海外受入

プログラム名	担当部署	実施予定日	受入予定数
ICCPJ 海外キャンプカウンセラー受入 （ICCPJ：インターナショナル・キャンプ カウンセラー・プログラム）	阿蘇/ 上通	7月14日～8月14 日上通：阿蘇研修前後の 約1週間	2名
環境教育ツアー（香港の大学生）	上通	6月11日～18日	17名

③国内交流

プログラム名	担当部署	実施予定日	参加予定数
広島ピースセミナー	ICR	8月4日～6日	5名
PHD協会研修生との交流	ICR	1月15日	10名

## 2. 語学教育活動

### (1) 国際理解を深めるための外国語教室

#### ア. 子ども英語教育活動

##### 【活動方針】

- ①キャラクターディベロップメントを取り入れたレッスンを通しての人格形成
- ②グループワークによる基礎的なコミュニケーション能力の育成
- ③アルファベットと基礎的フォニックスを中心とした英語力の習得
- ④挨拶、クラスルームイングリッシュ、基本単語の習得

##### 【活動計画及び目標人数】

##### ①Zooクラブ

	中央	みなみ	上通	ながみね	むさし	計
月平均	13名	32名	11名	19名	23名	98名

##### ②子ども英語クラス

	中央	みなみ	上通	ながみね	むさし	計
月平均	40名	222名	—	135名	134名	532名

#### イ. 成人語学教育活動

##### 【活動方針】

- ①ボーダレス社会で役立つ、実用的な語学力を養成します。
- ②多様性と違いを受け入れることを大切に教育を行います。
- ③世界の人々との対話を深め、共に生きることを目指します。

##### 【活動計画及び目標人数】

##### ①英会話クラス

	みなみ	上通	ながみね	むさし	計
月平均	36名	159名	13名	36名	244名

##### ②目的別クラス

	上通
月平均	9名

##### ③世界のことば

	上通
月平均	61名

### (2) 国際理解を深めるための日本語教室

##### 【活動方針】

- ①外国人のためのクラスルームコミュニティ形成の場と機会の提供
- ②実用的な語学力の養成(生活、日本語検定対策)
- ③ボランティアを通して日本人会員との交流を促進する

##### 【活動計画及び目標人数】

##### ①生活日本語クラス

	上通
月平均	3名

##### ②日本語教師養成クラス

	上通
月平均	3名

##### ③日本語学校 (短期留学コース)

	上通
月平均	9名

〔収益事業等〕

1. 宿泊及び料飲に関する事業（阿蘇YMCA）

【活動方針】

- ①青少年の全人的成長を願い、教育キャンプ、グループワークを通して参加者の人格形成、向上に寄与する。
- ②研修施設、宿泊施設とし、環境教育、野外活動、スポーツ活動等の生涯学習を通して交流を深め、多くの人々が交わり成長する活動を推進していく。

【活動計画及び目標人数】

	宿泊利用者	飲食提供者	合計
月平均	266名	310名	576名

2. 指定管理施設受託及びそれに附帯する事業

（＊福岡県大牟田市所有の多目的活動施設「リフレスおおむた」の管理運営）

【活動方針】

- ①市民の文化、スポーツ及び教養の向上並びに青少年の健全育成のための野外活動の充実を図るとともに、広域的な住民の交流の場を確保し、もって生涯学習の振興に資する。
- ②四ヶの自然とテクノパークという産業空間の中で、多くの人が出会い、自然体験等の野外活動、スポーツ活動、文化活動、宿泊生活体験活動等の生涯学習活動を通して交流を深め、ゆとりの中で生きる力を育むことのできる、環境に優しいふれあいのある施設として活動する。

【活動計画及び目標人数】

① 主催事業

- ・ ヨガ・健康体操教室 10名（毎週）
- ・ 成人陶芸教室 16名（9月、10月、11月）
- ・ 親子陶芸教室 36名（5月・6月・7月）
- ・ 親子ものづくり教室 20名（12月）
- ・ 親子苔玉教室 15名（3月）
- ・ クライミング指導者講習会 15名（1月から全8回）
- ・ 女性教養講座教室 20名（10月・11月）
- ・ こつこつゆうゆう体操教室 15名（9月・10月）
- ・ 親子クッキング教室 10名（1月・2月）
- ・ 陶芸サークル発表会 50名（3月）
- ・ がまだす隊（野外活動クラブ） 30名（月例）
- ・ なんでもやる隊（野外活動クラブ） 30名（月例）
- ・ 野草を食べよう 110名（4月）
- ・ 星空観察会 60名（8月・2月）
- ・ ほたる観察会 40名（5月）
- ・ 野外活動指導者講習会 15名（5月・6月）
- ・ アウトドアクッキング教室 10名（2月、3月）

②施設利用（主催事業以外）

1) 宿泊利用

	屋内利用者	キャンプ場利用者	合計
月平均	232名	56名	288名

2) 日帰り利用

	キャンプ場	和室	体育館
月平均	397名	554名	1263名

	クライミングウォール	料理室	研修室
月平均	198名	468名	593名

	音楽室	創作室	交流室
月平均	33名	177名	132名

3. 不動産の貸付に関する事業

①中央YMC A及び阿蘇YMC Aの土地の一部を学校法人熊本YMC A学園に貸与

1) 中央	熊本市中央区新町1-3-8の土地のうち、461㎡を貸与
2) 阿蘇	阿蘇市車帰の土地のうち、1919.8㎡を貸与

4. 自動販売機手数料事業

①各施設に設置している自動販売機の手数料収益

1) 中央	7台
2) みなみ	5台
3) ながみね	3台
4) むさし	5台